

講師謝金・交通費等の
費用負担はありません

学校安全実践力向上 “出前” 講座

支援対象

複数の学校園・団体から教職員等が参加する学校安全研修の主催団体

- * 都道府県・市町村・学校法人などの学校設置者
- * 私立学校園などの協議会・連合会
- * 校長会・教頭会・教科研究会など、教職員を構成員とする任意団体

※単独校園での研修などは対象となりません。



コース・内容

※A～Dの計4コースから選択できます

A. 「危機管理マニュアル」 見直しワークショップ	【講義とグループ演習】 （120分程度） 「学校の『危機管理マニュアル』等の評価・見直しガイドライン」をもとに、学校現場における「危機管理マニュアル」見直しの進め方、学校設置者の支援のあり方を学ぶ。	● 講師による講義に加え、1班4～6人ずつのグループ討議ができる会場が必要。（会場が準備できない団体は応相談） ● 定員：最大40～50名程度。
B. 安全点検フィールドワーク	【安全点検実習】 （120～150分程度） 「学校における安全点検要領」に基づき、1つの学校園（協力校園）を会場に、専門家とともに回りながら安全点検を実施して、安全点検の際に重要な視点や点検の進め方を学ぶ。	● 自校園を参加者・専門家による安全点検の会場として提供する協力校園が必要。 ● 定員：20～30名程度。
C. 事故調査 ロールプレイング演習	【講義・グループワーク等】 （90分程度） 「学校事故対応に関する指針【改訂版】」をもとに、事故・災害発生後の基本調査を模擬体験し、調査方法や要因分析の考え方を学ぶ。	● 講師による講義に加え、1班4～6人ずつのグループ討議ができる会場が必要。（会場が準備できない団体は応相談） ● 定員：最大40～50名程度。
D. ※都道府県・指定都市は支援対象外 学校安全・危機管理研修	【講義・グループワーク等】 （90～120分程度） 講義・グループワーク等を通じ、学校園教職員の危機意識向上を図る。（具体的内容は、主催団体との協議により決定）	● 主催団体の希望するテーマに応じて講師となる専門家を選定・派遣。 ● 定員：会場規模、内容等による。

Dコーステーマ例と申込方法は次ページ参照

過去に実施したDコーステーマ例

下記以外のテーマも可能です。お気軽にご相談ください。

主催団体等	参加者	講話テーマ
A市立学校副校長会	学区内の副校長・教頭	教頭向け 学校安全における管理職の役割
B市立小学校	学校教職員、学校運営協議会メンバー等	学校の不審者対策
私立C幼稚園	園教職員、地域住民等	幼稚園・こども園の訓練
D市立学校長協会健康安全委員会	同委員会メンバーの学校長	災害事例に学ぶ学校の安全対策
E県公立学校事務研究会	同研究会事務職員	学校事務の観点から被災後の対応や事前に備えておくべきこと
F県立特別支援学校	学校教職員、保護者、地域住民、近隣施設等職員	学校周辺地域のコミュニティと連携した災害対策
G県G市教育委員会	市内学校の教員	防災教育等
H市幼稚園・こども園園長会	市立幼稚園・こども園教職員	園や各家庭での備えなど災害対策を考えるための基本的な考え方
I県私立幼稚園・認定こども園協会	私立園の教員	想定される巨大地震と学校安全
J県養護学会西部ブロック	同ブロックの養護教諭	災害時の心のケア
K市立中学校	K中学校教職員、近隣他校教職員	不審者対応訓練

申込方法

実施時期は、いずれも**令和8年9月～令和9年1月**を予定しています。
右のURL又はQRコードより参加申込用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。

※複数のコースを希望される場合は、
コースごとに複数回お申込みください。

申込開始：令和8年7月21日
支援予定数：先着40団体程度

【問合せ窓口】 学校安全実践力向上“出前”講座 事務局
(株)社会安全研究所 担当:石水(いしみず)・首藤(しゅとう)
メール:schoolsafety@e-riss.co.jp TEL:03-3260-9414

<https://forms.cloud.microsoft/r/n5wtGjK76k>

